２　活動報告

	事務局会議・運営委員会他	取り組み
４月	事務局会議（９日）	運営委員会・つどいの開催について検討
	~~運営委員会（23日）~~　中止	
５月	~~事務局会議（14日）~~　中止	
	~~運営委員会（28日）~~　中止	
	「コロナの対応について」アンケートの取組み	各部会を通じて、事業所でのコロナでの対応、影響についてアンケートを集約。南ブロックからの要望と一緒にまとめて名古屋市に申し入れを行いました。
６月	全体会（書面表決）	活動報告、活動計画、決算予算、会長副会長選任
７月	事務局会議（９日）	運営委員会・つどいの開催について検討
８月	~~運営委員会（２７日）~~　中止	書面で報告
10月	事務局会議（22日）	運営委員会・つどいの開催について検討
	協議会ニュースの発行	運営委員会の開催ができないので、各部会の半年間の活動をまとめたニュースを作りました。
11月	運営委員会（12日） ＺＯＯＭと徳重支所	各部会から出された地域課題の集約。
12月	★~~みどりっこひろば（17日）~~	中止（児童部会）
１月	事務局会議（16日）	２月の運営委員会の議題確認
	~~第１０回　障害のある人もない人も共につくる緑区民のつどい~~	中止 「オンラインで音楽祭をやりたい」という意見が多数挙がりましたが、準備期間が短かったため、次年度に実施していくことになりました。
２月	南ブロック連絡会（４日） ＺＯＯＭ	・南ブロックの共通の地域課題の討議（障害者支援課、４区（緑・南・天白・瑞穂）の区役所・支所・保健センター・基幹センター） ・各区から地域課題を市に提出
	運営委員会（25日） ＺＯＯＭと徳重支所	各部会の活動報告、会計執行状況等
３月	日中居住部会ガイドブック「あなたのまち緑区」と 協議会パンフレット　の作成	緑区内にどんな事業所があるのか？どういう事をやっているのか？といった疑問にお答えするために、各事業所の方に協力していただき一冊のガイドブックにまとめました。協議会パンフレットは、新規事業所や協議会について関係機関の方に説明、周知するために作成しました。

・全体研修会・・・実施できず
・精神部会企画　講演会・・・実施できず
・ボッチャボールを購入しました

・南ブロック会議・・・年6回　（6月、8月、１０月、１２月、１月、3月）
・名古屋市自立支援連絡会　年３回　①7月　②11月　③3月

2020 年度　日中居住部会活動報告（案）

2020 年度は、コロナ感染拡大の影響で、活動内容や方法の変更を迫られながら、コロナ感染拡大対策や、就労系のプレゼン等の定例会を開催した。約 60 事業所がある中、会議の出席率は 2～3 割前後になっていて、会議への要望や参加のしやすさについても検討していく必要がある。

① 運営委員会　支所+オンライン　4/8　6/10　8/12　9/18　10/14　12/10(就労系も拡大)　2/5

② 定例会

日程	会議名	方法	内容
7/8	第 1 回 定例会	緑区役 所食堂	参加 13 事業所 20 名　テーマ「感染予防についての交流会」 事業所交流　・　感染予防の基礎知識「手作りフェイスガードとガウンづくり」・拠点事業所実績報告・今年度計画
9/9	第 2 回 定例会	ズーム	ズーム大交流会　参加 12 事業所 2 部構成「就労系とそれ以外で時間帯を分けて交流」
10/9	第 3 回 定例会	ズーム	参加 20 事業所 感染者発生から終息まで現場での 2 週間、感染対策マニュアルの共有について～　報告者/なるみ作業所・ゆたか生活支援事業所みどり
11/11	第 4 回 定例会	ズーム	参加 11 事業所 もしコロナにかかってしまったら・・・事業所で行う対応とは 講師/ぱすてる大澤看護師・小濱看護師(最新情報を提供いただく)
1/12	第 5 回 定例会	ズーム	参加 7 事業所　就労系事業所プレゼン大会 報告①/多機能事業所わかた・はたらく工房・ワークセンターメイプル・リハスワーク名古屋緑　報告②/ウエルジョブなごやについて
3/24	第 6 回 定例会	ズーム	交流 「近況と報酬改定の影響など」 前回就労系プレゼン会議のその後　今年度の振り返りと来年度の活動について

③ アンケート活動

4/23 第 1 回アンケート(回答 28)　感染予防対策について・事業所運営について　後日全部会のアンケートを取りまとめて名古屋市にも報告

6/18 第 2 回アンケート(回答 27)　利用者家族からの相談・家族が感染した時に対応について・助成金の活用・就労系事業所への影響と対応

④ 地域課題

主にコロナ対策について　緊急的に課題提出「検査・隔離や過ごせる場の場確保・体制確保」

⑤ 自立支援協議会の派遣

・防災部会　→かわら版 2 回発行　BCP 講演会 2/16 開催

・つどい　→中止　ガイドブックの更新に予算化

◇その他

（1）区役所・支所における授産製品販売（主催：緑区福祉課）→年間を通じて取り組まれた

（2）イオン大高「みどり福祉の店フェア」出店(共催)　→2/2 実施

（3）ホームページ更新　9月実施　10件の事業所が更新

（4）ガイドブックの作製　3月末発行　440 部

2020 年度　居宅部会活動報告（案）

◇障害児者に関わるヘルパーさんのためのサロン

　ヘルパー事業所の現状と悩みなどを交流できる場を目指し、特にテーマは決めず、毎回自由に交流する中で地域課題などを話し合いました。今年度はコロナの影響のために ZOOM を活用してのサロンを開催しましたが、メンバーが固定化され新規の参加者はありませんでした。

運営委員会　4/24、6/25、9/14 実施

	開催日	参加人数	内容
第 1 回	7/14	5名	4月のアンケート結果について
第 2 回	10/19	5名	地域課題について
第 3 回	12/24	5名	コロナの現状交流

◇定例会

2021年　2月　22日（月）　13～15 時　ZOOM

地域で暮らしを支える交流会　～コロナ禍での支援を振り返る～

話題提供者　緑区役所福祉課障害福祉係　係長　磯部多恵氏

参加者　　11名

ヘルパー事業所以外にケアマネ事業所にも声をかけた

◇緑区自立支援連絡協議会への派遣

・防災部会　おおばこ島田さん

・つどい　中止のため派遣なし

◇その他

・コロナに関わるアンケートを 2 回行い 1 回目は回答率 68%という高い回収率でした。

・緑区基幹センターのホームページ（居宅事業所一覧）の整備を行いました。

・10/9 日中居住部会大 ZOOM 講演会　～コロナ感染が発生した時の対策、マニュアルについて共有～

　居宅部会からは5事業所の参加がありました。

◇来年度に向けて

・居宅部会において地域生活を支えるという視点を持ち、居宅事業所をはじめ、相談支援専門員、介護支援専門員等にも呼びかけ、その中で必要となる交流会、研修会をおこなっていきます。

令和　3年　3月　31日

令和２年度　児童部会活動報告

●第１回　4/17（金）　中止

●第２回　5/20（水）　中止

●第３回　7/10（金）徳重支所　２０名
・新規部会メンバー（緑区役所民生子ども課、子ども応援委員会、保育案内人）の挨拶
・コロナアンケート報告
・緑区自立支援連絡協議会について
・事業所紹介（基幹、放デイ、児発）
・アンケート（コロナ禍の夏休みの過ごし方について）

●第４回　9/16（水）オンライン会議　２０名
・新規参加事業所挨拶（ 春風、子ども応援委員会）・自立支援連絡協議会の動き（他の部会、つどい）
・地域生活支援拠点事業について
・前月アンケート結果について
・事業所交流（コロナウイルスの影響を受けて、現在の事業所の様子）

●第５回　11/19（木）オンライン会議　１９名
・地域生活支援拠点事業について
・防災部会、南部ブロック会議幹事会より報告
・11/12（木）運営委員会報告（つどい、他の部会の状況について）
・4 グループに分かれて地域課題について事業所交流
（親が抱える療育センターの不便・不足、養護学校の送迎バスの課題、障がい児への理解について）

★第６回　12/17（木）オンライン会議　１７名
・研修会「もしもコロナにかかってしまったら…事業所で行う対応とは」　10：00～12：00
講師：生活介護ぱすてる　看護師 小濱 氏
内容：厚労省の資料『介護職員のための感染対策マニュアル』を用いて、医療からのアプローチとして、現場で働く看護師さんからの講義を聴き、もしもの時に備える。

●第７回　1/13（金）　中止

●第８回　3/12（金）オンライン会議　　１６名
・自立支援連絡協議会の動き（他の部会、つどい）
・新規参加事業所挨拶（コペルプラス、ぴぃすなるみ）　・福祉課　磯部係長よりコロナの状況について
・事業所交流（「今年度を振り返って、来年度でやりたいこと」）
・来年度の日程

精神部会 2020 年度活動報告

【今年度の取り組み】

・勉強会・交流会を行い、精神障害者の住まいの課題、なかでもグループホームについての理解を深めた

・コロナ禍での各事業所の対応について情報交流を行った

・会議の中止が続いた　9 月以降、会議はオンラインで行った

●定例会：5 回　勉強会：1 回　交流会（例年は講演会）：1 回

○運営委員会：5 回

○交流会実行委員会：７回

○勉強会実行委員会：４回（グループホーム課題）・3 回（来年度勉強会準備）

2020 年	
4/21	定例会→コロナ感染拡大のため延期
6/16	**第 1 回精神部会定例会**（はたらく工房・１０名参加） ・活動計画　・各企画報告　・コロナによる影響
６～７月	**勉強会**（書面会議） グループホーム利用支援に関わる課題の検討(参加機関 8 か所)
8/18	定例会→コロナ感染拡大のため延期
9/15	**第 2 回精神部会定例会**　（オンライン・12 名参加） ・勉強会報告 ・講演会はコロナの影響により開催中止決定、代案を検討
11/17	**第 3 回精神部会定例会**（オンライン・10 名参加） ・地域課題について検討 ・勉強会テーマ検討→「つながりにくい人への支援」に決定 ・講演会の代案についての検討→部会構成メンバーと GH との交流会
2021 年	
1/19	**第 4 回精神部会定例会**（オンライン・11 名参加） ・地域課題決定の報告　・勉強会・交流会報告　・コロナによる影響
3/6	グループホームとの交流会（講演会代替企画）
3/16	**第 5 回精神部会定例会**（オンライン・10 名参加） ・勉強会・交流会報告　・次期運営委員選出　・事業所状況交流

【定例会　参加事業所】

ウル　相談支援事業所 me　多機能型事業所わかた　地域活動支援センターしかやま　地域活動支援センターベーすはうす　はたらく工房　鳴海ひまわりクリニック　メンタルクリニックみなみ　ゆたか希望の家相談支援事業所　ワークセンターメイプル　緑区障害者基幹相談支援センター

2020 年度　相談部会　活動報告（案）

日程(各 10：00～11：50)	内容	場所・参加者
４月２０日（月） **中止**	~~通常部会(新年度顔合わせ、近況報告、2020 年度活動計画等)、区役所保健予防課の窓口一本化について~~	~~徳重支所第 1・2 会議室~~
５月１８日（月） **中止**	~~相談支援の在り方と運営課題について学習会　　講師　木全先生（予定）~~	~~徳重支所第 1・2 会議室~~
６月１５日（月）	事業所交流（新規事業者等紹介、コロナ感染に関わって、運営状況など） 報告事項、今年度の定例会の予定など	徳重支所第 1・2 会議室 19 名（1 事業所 1 名の参加とした）
７月２０日（月）	報告事項、名古屋市との懇談会に向けた意見交流	区役所第 2 会議室 18 名（1 事業所 1 名）
８月１７日（月）	事業所交流、市との懇談会に向けて 65 歳問題ケース検討会 希望の家石黒氏、テラス熊沢氏、なごみ阿隅氏	オンライン　20 名
９月１４日（月）	質問項目に対する名古屋市からの説明会 65 歳課題について 8 月事例検討会を受けて意見交流	オンライン　20 名
１０月１９日（月）	相談部会地域課題について 介護保険制度の学習会：講師　なごみ阿隅氏	オンライン　16 名
１１月１６日（月）	自立支援協議会運営委員会の報告、地域課題について 精神の方の支援で困っていること	オンライン　20 名
１２月２１日（月）	精神の方の支援について事例検討会 ひなゆり木下氏、ひととま中原氏、カモミール泉谷氏	オンライン　18 名
１月１８日（月）	精神の方の支援について事例検討会の振り返り、今年度の振り返りと次年度の部会について	オンライン　22 名
２月１５日（月）	障害児支援について：事例検討会 ゆたか希望の家楠本氏、つくしみなみ吉田氏、そよ風近藤氏	オンライン　23 名
３月１５日（月）	R3 年度障害福祉サービス等報酬改定について：日本福祉大学木全先生	オンライン　21 名

＊定例会の内容：相談支援事業所・相談支援専門員の交流、事例検討会・学習会

コロナ感染拡大防止のために、4・5 月は部会を中止しました。4 月にコロナ感染にかかわる影響や対応について各事業所にアンケートを行いました。6・7 月は感染が下火になり、参加者を各事業所 1 名と限定して定例会を開催しました。8 月からは各事業所に環境を設定していただき、オンラインで開催してきました。移動時間が短縮され多数参加しやすいので、オンライン会議という形が良いという意見も上がっています。

9 月の定例会では、計画祖談にかかわる質問について、名古屋市障害者支援課から説明をしていただきました。みなさんから出していただいた学習課題がいくつか上がってきました。20 年度は 65 歳以降の高齢の障害者の介護保険への移行にかかわる課題、つながりにくい精神の方の支援について、児童の支援について他機関との連携の仕方についてを取り上げ、ケース検討会を行い、課題を整理し学習会を行ってきました。年度内に完結できなかったものは、次年度に引き継いでいきます。学習会として、介護保険制度についてなごみ阿隅さんに話をしていただきました。介護保険制度と障害福祉サービスの違いがよくわかる内容でした。児童については 21 年度に学習会を行っていく予定です。

当初 5 月に「相談支援の在り方と運営課題について」木全先生にお話をしていただく予定でしたが、コロナの関係で行えませんでした。3 月に R3 年度障害福祉サービス等報酬改定についてお話をしていただきました。

＊10/1 から相談支援事業所 Me（ミィ）が開設されました。

2020 年度　防災部会　活動報告

≪活動の柱≫

①家具転倒防止対策動画の作成・普及（you-tube での限定公開、「まるはっちゅーぶ」公開予定）
②防災かわら版 1 号、 2 号の発行
③BCP オンライン講演会の実施

部会立ち上げ時から区内の防災訓練へ参加してきたが、今年度は区が主催する 3 つの防災訓練はすべて新型コロナウイルスの影響で中止となり、活動計画の変更を余儀なくされた。
コロナ禍でも可能な活動を推進する方針で①②の普及啓発に取り組んだ。
今年度より、緑区身体障害者福祉協会伊藤さんが部会に加入
年度当初の会議は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止、9 月以降はオンラインでの会議を開催、また③BCP 研修会についてもオンラインで開催した

【会議・研修】

		議題	場所（区役所内）	出席者
1	7 月 28 日（火）	コロナ禍での会議の持ち方について 今年度の活動計画について	区役所第 1 会議室	6 名
2	9 月 29 日(火)	協議会構成員への防災情報の提供について ＢＣＰ講演会について その他	オンライン（ZOOM）・緑区障害者基幹相談支援センター	10 名
3	11 月 24 日（火）	かわら版の作成について ＢＣＰ講演会について 家具転倒防止対策動画の作成について その他	オンライン（ZOOM）・緑区障害者基幹相談支援センター	12 名
4	1 月 26 日（火）	ＢＣＰ講演会について かわら版第 2 号の作成について 来年度の活動に向けて その他	オンライン（ZOOM）・緑区障害者基幹相談支援センター	12 名
5	2 月 16 日（火）	BCP 講演会 「大災害に備え、私達に出来ることを考えよう」 講師：福祉ぼうさい研究所　足立育雄先生	オンライン（ZOOM）・徳重支所第 3 会議室	22 名
6	3 月 23 日（火）	BCP 講演会振り返り 今年度の活動の振り返り 次年度の活動計画について	オンライン（ZOOM）・緑区障害者基幹相談支援センター	9 名

2020 年度地域生活支援拠点　報告

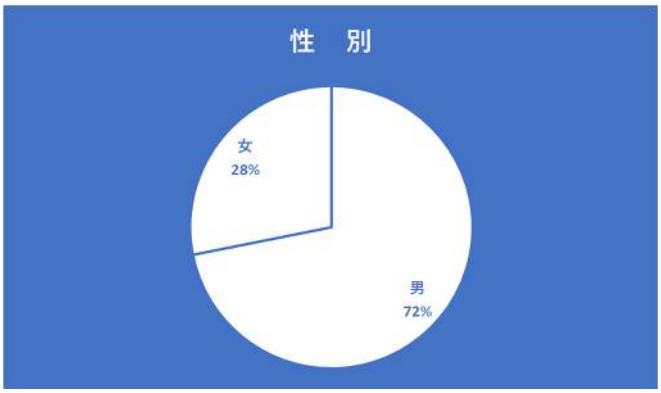
2020年度　利用実績						
お助けショート利用状況				お試グループホーム利用状況		
月	利用人数	利用日数	不可回数	月	延べ人数	日数
4月	0	0	0	4月	0	0
5月	1	3	0	5月	1	9
6月	1	14	0	6月	3	26
7月	0	0	0	7月	1	4
8月	1	14	0	8月	1	8
9月	0	0	0	9月	3	16
10月	0	0	0	10月	3	8
11月	0	0	0	11月	1	4
12月	2	18	0	12月	3	25
1月	2	8	0	1月	3	26
2月	1	14	1	2月	2	4
3月	0	0	0	3月	1	2
合計	8	71	1	合計	22	132

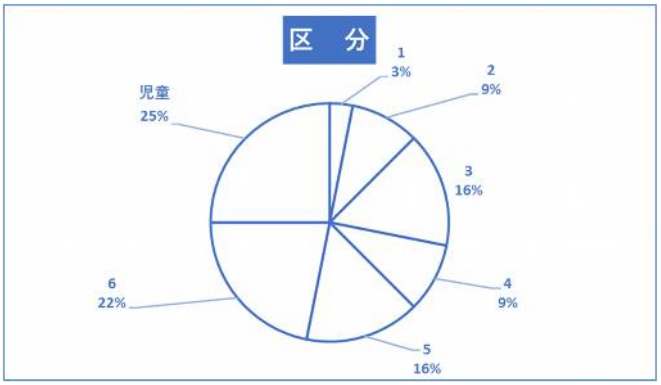
2020 年度は、コロナ感染の広がりの影響を受けて、「お助けショート」の登録については、前年度比半数の 12 件（総登録数 32 件）にとどまりました。しかし、その内 7 件が「緊急性が高く」、登録当日から利用するというケースでした。また家庭内で、コロナ感染が起った場合に、利用が出来るかという問い合わせも若干あった事も特徴と言えます。「お試しグループホーム」については、延べ 22 名 132 日の利用がありました。

その後 GH に入所された方もあります。この利用については、特定相談から、ケースの状態に合わせて直接拠点事業所に相談されるのが主な利用になっています。

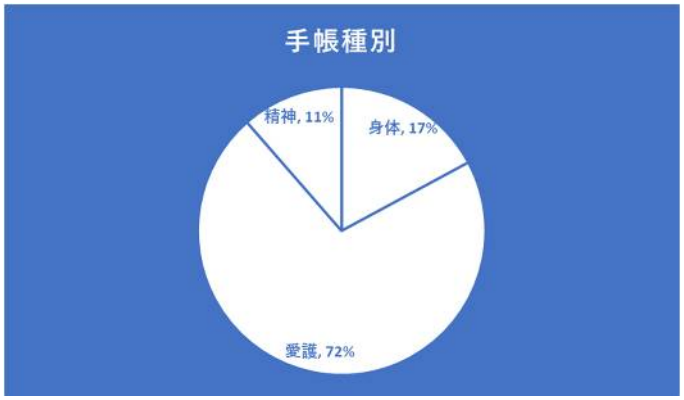
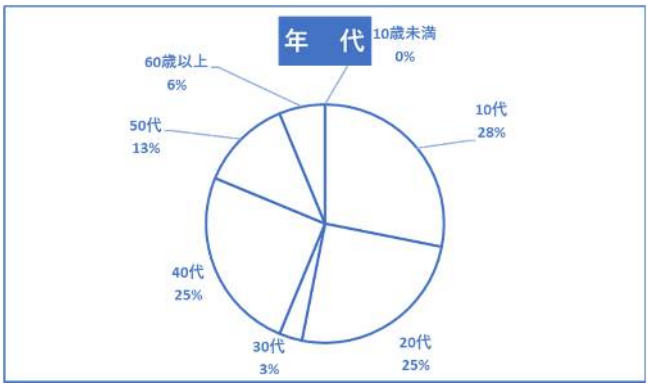
※表は、2020 年度の利用実績

※円グラフは、総登録者 32 名の傾向





登録案内については、今年度市のウエルネットでも掲載され、新たに拠点事業所で、室内を紹介し感想を乗せたチラシを作製しました。年末には、親の会３団体を回り、事業の紹介や登録の案内をしてきています。また、今年度から、自立支援協議会の運営委員会に、拠点事業所が参加し、その都度の状況を報告、必要な協議を行うように変更しました。

面的整備の推進としては、課題ととされる「強度行動障害の方」への支援は、協議会の取り組みと整理し、今後地域で支えるために必要な研修会などを開催していきます。「医療的ケアが必要な方」については、地域で安心して暮らすことが出来る為の一つとして、地域包括ケア病棟の活用を考えています。今後利用事例を集めていきます。

来年度から、「特定相談による事前登録支援」、「医療的ケア受け入れ補助」、「拠点事業所の登録内容の緩和」等の取扱いの変更がされます、そして南ブロックとしては、令和４年４月に４か所の拠点事業所が整備される予定で、区内の面的整備の他、ブロック間で利用者が理由しやすい在り方についても検討していく必要があります。引き続きコロナ感染の対応は必要ですが、地域生活支援拠点事業の整備や、その情報を広く知らせていく活動を進めていきたいと思います。